

平成5年度 三翠化学会総会報告

三 翠 化 学

(題字は稲川先生)

第39号
平成5年10月1日発行
三 翠 化 学 会
津市上浜町1515
三重大学農芸化学コース内
電話/津(0592)32-1211
振替/名古屋9-5934
印刷/株式会社あるむ
TEL(052)332-0861 大8長谷川正一

新会長に嶋田氏(専3) 副会長に原田氏(専3)と 古市氏(大13)の新体制へ

三重県支部総会・嶋林先生 退官祝賀会も合わせて盛大に

退官祝賀会も合わせて盛大に

平成5年度三翠化学会総会が去る五月二十三日(日)に津都ホテルで開催された。

当日の出席者は、この春定年退官された嶋林先生とご令室をはじめ、赤木盛郎先生、熊沢善三郎先生、柏村直樹先生、犬伏和之先生、奥村克純先生、中村良先生(名古屋大学)にもご臨席いただき、嶋林先生の退官祝賀会も合わせて盛大に開催された。

基金庶務、会計報告を高橋幹事、平成5年度事業計画を久松原田副会長(専3)の司会のもと、渡辺会長(専1)の挨拶、熊沢先生の来賓挨拶があり、議長に若林長生氏(専1)、議事録署名人に田中美氏(大20)を選出し議事を進めた。

平成4年度事業報告を久松幹事、同会計報告を梅川幹事、同基金庶務、会計報告を高橋幹事、平成5年度事業計画を久松幹事、同予算案を梅川幹事が行い、審議の結果いずれも異議なく承認された。さらに、会則の改訂案が提出され、従来副会長二名とされていたものを副会長一名とする事を議決した。

また、本年度は役員改選の時期に当たるため、平成五・六年度年・役員についての審議が行われ、別掲のように、嶋田会長、原田副会長、古市副会長および理事を選出し承認した。新会長挨拶ののち、評議員・幹事を委嘱した。

つづいて、三重県支部総会が開かれ、新支部長に近藤清夫氏(大2)を選出し、その他の役員も決定した。

今総会の講演会は嶋林先生にお願いして、「三重大学農学部と三翠の歴史を中心として」という話題で約一時間にわたりご講演していただいた。

講演会終了後、同ホテル「伊勢の間」で嶋林先生退官記念祝賀会および懇親会に入った。

嶋林ご夫妻がしずしずと入場行進されて会が始まり、名古屋大学の中村良先生をはじめ来賓のご挨拶や、祝電披露、記念品の贈呈など華やいだ雰囲気の中で、なごやかに時が経ち、最後に応援歌で宴を閉じた。さらに、場所を代えて二次会となり、カラオケの熱唱の後解散となった。

また、本年度は役員改選の時期に当たるため、平成五・六年度年・役員についての審議が行われ、別掲のように、嶋田会長、原田副会長、古市副会長および理事を選出し承認した。新会長挨拶ののち、評議員・幹事を委嘱した。

つづいて、三重県支部総会が開かれ、新支部長に近藤清夫氏(大2)を選出し、その他の役員も決定した。

今総会の講演会は嶋林先生にお願いして、「三重大学農学部と三翠の歴史を中心として」という話題で約一時間にわたりご講演していただいた。

講演会終了後、同ホテル「伊勢の間」で嶋林先生退官記念祝賀会および懇親会に入った。

嶋林ご夫妻がしずしずと入場行進されて会が始まり、名古屋大学の中村良先生をはじめ来賓のご挨拶や、祝電披露、記念品の贈呈など華やいだ雰囲気の中で、なごやかに時が経ち、最後に応援歌で宴を閉じた。さらに、場所を代えて二次会となり、カラオケの熱唱の後解散となった。

また、本年度は役員改選の時期に当たるため、平成五・六年度年・役員についての審議が行われ、別掲のように、嶋田会長、原田副会長、古市副会長および理事を選出し承認した。新会長挨拶ののち、評議員・幹事を委嘱した。

つづいて、三重県支部総会が開かれ、新支部長に近藤清夫氏(大2)を選出し、その他の役員も決定した。

「ナベさん、長い間ご苦労さんでした。バトンは確かに受け取りました。」
新会長 嶋田 協(専3)

「ナベさん、ナベさん」と昔から気安く呼ばせていただいていたが、正式には第三十三代三翠化学会会長渡辺和巳氏(専1)のこと。四期八年間にもわたる長期間、会長として、その任を全うされました。これまでに、渡辺会長を初め、役員の方々の並々ならぬご努力により、会の中はもちろん、対外的な面でも立派な成果を上げてこられました。それが、そろそろ選手交替をしたという非常に強いご希望があり、一期だけの約束で私が会長を引き受けることになりました。力不足で皆様方のご援助がないと任務の遂行は無理と思いが、カラオケ、スポーツなど遊ぶことが大好きなので、来年四月に

肩書ははずれるのを機会に、その方面の精進をするつもりです。皆様方と共にいろいろなサークルを作って、年を忘れて親睦を深め合っていきたいものです。会員の皆様、来年、再来年の総会にはノーネクタイの気軽な服装でブラリと会場にお立ち寄り下さい。昔懐かしいお顔を拝見できることを楽しみにしています。



三翠化学会総会



生物資源学部長に高橋孝雄氏(化大6回)

去る七月の学部長選挙で選出され、十月一日よりその任についておられます。御活躍を期待します。

三翠化学会平成5年度予算

1) 収入の部	4年度実績		5年度予算(円)	
	4年度実績	5年度予算(円)	4年度実績	5年度予算(円)
前年度繰越金	669,965	895,724	669,965	895,724
会費	1,127,000	1,000,000	1,127,000	1,000,000
雑収入	0	5,000	0	5,000
預金利子	26,117	5,000	26,117	5,000
計	1,823,082	1,905,724	1,823,082	1,905,724

2) 支出の部	4年度実績		5年度予算(円)	
	4年度実績	5年度予算(円)	4年度実績	5年度予算(円)
会報印刷費	383,366	450,000 (会報39、40号)	383,366	450,000 (会報39、40号)
郵便通信費	191,990	250,000 (会報発送・会議連絡)	191,990	250,000 (会報発送・会議連絡)
会議費	252,591	250,000 (役員・評議員会)	252,591	250,000 (役員・評議員会)
人件費	46,500	75,000 (会報発送アルバイト)	46,500	75,000 (会報発送アルバイト)
三翠会連絡協	30,000	30,000	30,000	30,000
議会負担金				
事務費	22,911	850,000 (名簿・会計管理用PC)	22,911	850,000 (名簿・会計管理用PC)
予備費	724		724	
計	927,358	1,905,724	927,358	1,905,724

平成4年度三翠化学会基金決算報告

収入の部	
前年度よりの繰越	1,460,694円
定期貯金利息	240,125
郵便貯金利息	4,556
計	1,705,375

支出の部	
新入生歓迎会	30,000円
総会補助	30,000
同上写真、送料	10,676
支部活動費	80,000
同上送料	1,449
こうより補助	30,000
卒業記念品	86,620
計	268,745
差引残高	1,436,630円

基金管理内容	
定期貯金	20万円×5 = 1,000,000円
郵便貯金	436,630円

三翠化学会平成4年度事業報告

平成4年	4月24日	農芸化学新入生歓迎会
	5月8日	第1回役員・評議員会及び基金運用委員会
	5月23日	平成4年度総会・懇親会
	5月24日	榊原温泉 清少納言
	9月4日	第2回役員・評議員会及び基金運用委員会
	9月30日	三翠化学会会報第37号発行
平成5年	2月10日	第3回役員・評議員会及び基金運用委員会
	3月31日	三翠化学会会報第38号発行

三翠化学会平成4年度決算報告

1) 収入の部	予算		決算(円)	
	予算	決算(円)	予算	決算(円)
前年度繰越金	669,965	669,965	669,965	669,965
会費	600,000	1,127,000	600,000	1,127,000
雑収入	5,000	0	5,000	0
預金利子	5,000	26,117	5,000	26,117
計	1,279,965	1,823,082	1,279,965	1,823,082

2) 支出の部	予算		決算(円)	
	予算	決算(円)	予算	決算(円)
会報印刷費	500,000	383,366 (会報37、38号)	500,000	383,366 (会報37、38号)
郵送通信費	300,000	191,990 (会報発送・会議連絡)	300,000	191,990 (会報発送・会議連絡)
会議費	180,000	252,591 (総会開催費負担分を含む)	180,000	252,591 (総会開催費負担分を含む)
人件費	95,000	46,500 (会報発送アルバイト)	95,000	46,500 (会報発送アルバイト)
三翠会連絡協	30,000	30,000	30,000	30,000
議会負担金				
事務費	80,000	22,911	80,000	22,911
予備費	94,965		94,965	
計	1,279,965	927,358	1,279,965	927,358

¥1,823,082 - ¥927,358 = ¥895,724 (次年度繰越金)

三翠化学会平成5年度事業計画

平成5年	4月30日	農芸化学新入生歓迎会
	5月7日	第1回役員・評議員会及び基金運用委員会
	5月23日	平成5年度総会・懇親会(津都ホテル)
	8月	第2回役員・評議員会及び基金運用委員会
	9月	三翠化学会会報第39号発行
	11月	第3回役員・評議員会及び基金運用委員会
平成6年	2月	第4回役員・評議員会及び基金運用委員会
	3月	三翠化学会会報第40号発行

予告

平成6年度 本部総会及び東海支部総会

■日時/平成6年5月28日(土) 10時より
■会場/ホテルサンルート (名古屋駅前)

- 青木みか先生(大1)講演会
「寝たきり老人の周辺——福祉・家族・食事(高齢家族における在宅ケア)——」の出版を記念して講演して下さい。
○「中村浩司とその仲間達」の演奏
39回卒の5人のグループがCD作成を記念して演奏!!
※12回卒組が卒業30周年とこのことでクラス会をいたします。是非各々クラス会を企画して下さい。

社会人になって、半年が過ぎました。月日の流れは不思議なもので、がちがちになって受けた採用試験が、ついこの間のことのような、遠い昔のことのよう気がします。
さて、仕事のほうはどういう、八月より本配属となり、主に抗生物質の注射剤を担当することになりました。次から次へと本場に次から次へと、やって来るサンプルたちを、入社するまで液クロ、ガスクロをはじめ、分析機器をほとんど扱ったことがない、という私が、順々にこなせるはずもなく、こんなにたくさん、一体誰が使っているのだろうと、山積みサンプルのために息をつきながら、残業をしています。
ある日、ふと思っただけですが、

社会人一年生 近況報告

ファイザー製薬 神谷美香子

抗生物質の注射剤って結構高いはず(薬価については、ほとんど知らない)、一ロットで約二万バイアルだから……、お私の合格一つで、すごいお金が動いてしまう……と。だから、全ての試験(10~15項目ある)の測定値をテストノートに書き込み(異常がなければ)最後に自分のサインをする、この時に、ああ、仕事をしているな、という充実感を一番強く感じています。
プライベートで変わったことと言えば……、自分の時間が増えたことでしょうか。学生の頃は、アルバイト、アルバイトで、平日も休日も働いていました。今は、完全週休二日の上、平日も七時には家に居ることが出来ます。この半年で、随分本も読

応用微生物学研究室 OOB会だより

七月三十一日(土)三重県社会福祉会館に七十四名が参集した。講演会には、いろいろな分野で活躍されているOB十一人が登場したが、全員自分の持ち時間をオーバーする熱心さで、延々四時間におよんだ。松嶋欽一先生(写真中央・蝶ネクタイ)の解説なども入り、寄付していた飲料や、食物を食べながら楽しく聴講した。(嶋田)



三重大学生物資源学部 応用微生物学研究室 OOB会

三重県支部だより

元三重県支部長 佐々木 敏雄
昭和六十年から八十年間務めさせて頂いた支部長を本年度から近藤清夫氏に引き継ぎましたので、この機会に当支部の発足以来携わってこられた諸君の御名前を振り返ってみたいことにしました。

三重県支部の発足
故西川芳次郎会長の熱望もあって昭和五十七年一月十二日に設立準備会が開かれ、翌年の八月十七日の支部総会で支部規約の施行を同年五月十五日からと決め、初代会長に渡辺和巳氏が就任しました。

三翠化学会三重県支部連絡協議会への参加
そもそも化学会の当支部発足の理由は、この連絡協議会(津市内県蚕糸会館で年間四五回開催)に当支部長及び三幹

事、役目からと観念しつつ出席していることも御承知おき頂きたいと存じます。
当支部主催又は共催の行事
当支部の発足に伴い支部総会を兼ねてのレクレーションを目的として、昭和五十八年八月七日、親睦大漁大会を度会町葛原宮川河畔において家族を含め約五十名の参加により盛大に開催しました。

二号館は消え、楠の木は残った!

この写真の中央付近にあった旧農学部三号館は、ついに八月に完全に取壊され、待望の新館二期工事がついにスタートしました。現在は基礎工事をしており、写真の左側は二号館、右側は新館(二期工事完成した部分)で、中央は教育学部です。本学部のシンボル・ツリーである楠の木(二号館のすぐ



右は、このまま残されます。新館の竣工は、平成七年三月の予定です。我々農芸化学は、その六階と七階(最上階)
b y 田口 寛

三翠化学会三重県支部役員および三翠会三重県支部連絡協議会役員

Table with columns for position (e.g., 支部長, 副支部長), name, and graduation year (卒業回数).

十四日 三翠化学会総会神原原泉清少納言でそれぞれ開催しましたが、特に演習林、宇賀溪、大杉谷、付属農場での催しは極めて好評を頂きましたので申し添えておきます。
おわりに当たり、支部の活動が三翠化学会をより立てることになり、是非とも若いメンバーがこのような集いを企画し活発に開催して頂くようお願いするとともに、何時も参加して下さい。

三翠化学会役員 (平成5-6年度)

Table listing officers and members of the Sansei Chemical Society, including names and graduation years.

随想ザ・定年



五月二十三日開催された三翠化学会総会には、格別の御高配を賜り家内共々御招待をいただき、多数の恩師、友人の御出席のもとに盛大な停年退官の祝賀会をしていただき、誠に有難うございました。その上、大変に素晴らしい記念品(福森守比古先生名作の壺)を頂戴し心からお礼申し上げます。

三翠化学会の方々の御厚意に只々感謝を申しあげるのでございまして、教師冥利に尽きると感謝を新たにしている昨今であります。

三月三十一日付けで、三重大学を停年退官するや、約四十年の間住みなれた津の街を引き払い、生れ故郷の滋賀県栗東町(中央競馬のトレーニングセンター)に引越してから早くも半年が経ちました。引越当初は、多数の友人・知己に温かく迎えられたものの、土地の状況にも疎く、今浦島の感がしておりますが、自治会活動や区民旅行、更にはスポーツ等を通して、地域の方々と追々親しくなっております。

昭和二十六年三月、卒業してすぐ明野高校に奉職、以後、久居農林高校、宇治高田高校、再び明野高校にもどって最後は志摩高校で定年をむかえました。これが私の県立高等学校四十年間の職歴です。

最初の明野高校時代は、まだまだ敗戦後の食糧難、物資不足の時代であり、農業への期待も大きく、総合農業や農業クラブの活動が活発な時代でした。次の久居農林高校では、農産製造関連の専門学科が無かったので農業科の中の農産加工を主として担当しました。この時代はまさに日本経済の高度成長期であり、いよいよ他産業との格

室の体裁を整えることが出来たのは嬉しい思い出の一つであります。

当時の農芸化学は草創期から成長期へと脱皮の時期で、教員は十名前後でありましたが、農芸化学の発展・充実に目指して、教育・研究の熱意に燃えて

一言お礼を申し上げます

鳴林 幸英

おられた。それ以来、幾多の変遷・躍進を重ね、現在では八教育研究分野、二十名の教員を擁し、質・量共に充実した大世帯へと発展して参りました。学科の名稱も、農産製造科・農芸化学科・生物資源学専攻科・農芸化学科へと変更されましたが、農芸化学の伝統と特色は連綿として受け継がれており更に、二十一世紀を見据えてのニューカラーの構築を目指しておられるのは正に御慶の至りでありませう。この間、枚挙に遑がない位の腕を学生諸君と競いつ、実験

学院農学研究科(修士課程)農芸化学専攻設置(昭和四十四年)、○農芸化学同窓会(三翠化学会)の設立・発足(昭和四十八年)、○農・水産学部の改組・統合による生物資源学部の設置(昭和六十二年)、○大学院生物資源学専攻科博士課程生物機能応用科学専攻設置(平成二年)、○農学部同窓会(三翠同窓会)と水産学部同窓会(勢水会)との融合による三重大学三翠同窓会の設立・発足(平成三年)が主なものと浮び上

つて参りました。私はかねてより、大学は教職員の卒業生、在学生の三位一体によって初めて成長・発展するものと受けておりました。その現役、○農芸化学の機関誌「こうより」の発行(昭和三十四年、今年三月には第三十六号を発行)、○新研究棟の竣工と引越(昭和三十五年、当時の農学部では唯一の鉄筋コンクリート二階建て、現在も教育学部敷地内で健在)、○新校舎の竣工と引越(昭和四十年、現在の旧農学校舎・号館)、○大

内ならびに在津の卒業生にお考えを披露するとともに相関った所、全員異議なく大賛成を得たのであります。思えば、稲川先生の一声が同窓会設立の強力なドライバーフォースとなつたのは否めない事実であります。幸いにも卒業生各位の積極的な姿勢と協力のもとに設立準備は着々と進み、会の名稱(案)や会則(案)等を検討した後、昭和四十八年十一月二十四日に設立総会を開き、名実ともに「三翠化学会」が発足したのであります。設立当時の会員数は約七百五十名でありましたが、今日では千三百名になんなんとする大同窓会に発展したのであります。先発の同窓会に決して引けを取らない、むしろ組織と運営、活動状況とまとまりの点では一歩抜き出ており、「若さとまとまりの三翠化学会」と自負しています。鳴林幸英長と、益々の発展を心から祈念しています。

思えば、長いようで短かつた大学生活において、学内外の多くの方々、とりわけ同窓生各位には多大のお世話になりました。卒業生も多くなつたことと、教育研究に携わることが出来ました。さらには、硬式野球部の顧問教官として、三度に及ぶ全日本大学野球選手権大会への出場をはじめとするクラブ活動や、三翠化学会ならびに

一杯です。私が退職した翌年、志摩高PTAは文部大臣賞を受賞しました。以上、思いつくままに書きつらねて「ザ・定年」の意図から逸脱したかと思ひます。家康の遺訓の一節に「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し、……」というのがあります。私の場合、前記以外の荷も含まれ、重荷を負うて遠き道を行くが如し、……というのがあります。今、こゝに立つておられるのは、

法による酒造りが開始して約十二％にまで伸びました。当社でもこれに相当する大吟醸宮の雪、生粋宮の雪、極上宮の雪が、外国では、モンドセレクションに各々六年連続金賞の栄に浴し、国内では、平成五年新酒鑑評会で金賞を受賞致しました。一方小売免許の緩和と相まって、コンビニエンスストア、デパート、スーパー等での酒の乱売が行われ、小売店は、現在の六万店から六万店ぐらゐになるであろう。また、メーカーも江戸時代の初期に始まった杜氏制度が後継者難から、後五年で杜氏による酒造りはなくなるであろうと言われている。酒米は、蒸してから使用していたものが、酵素を利用して液化する煮詰方法へと大きく変化し始めており、現在各地でこの新しい方

宮崎 本店 工場長 奥野 啓(化14)

県立高校四十年

専3 鈴木 幸郎

一先生の化学を聴講させていただいたり、それぞれの研究室のさまざまな機器分析装置を見学させていたたりで大変勉強させていたたり助かりました。実験の都合で終電車の時間が早

中心にご指導を受け、また、菌体のアミノ酸分析では古市先生に大変お世話になりました。雨の中を伊勢の自宅まで突っ走ったり、思い出せばまだまだ物理化学工学や教育学部の山田省

と、すて煩わしくなり、オートバイ通学に切りかえ、深夜、寒風や雨の中を伊勢の自宅まで突っ走ったり、思い出せばまだまだ物理化学工学や教育学部の山田省

の学校で重責を果して居られます。なお、明野と言えは甲子園という時代のおかけで在任中八回の出場のお手伝いをさせていただき、特に五度目の出場からは甲子園出場後援会事務局長として全力を傾注しました。

以上、思いつくままに書きつらねて「ザ・定年」の意図から逸脱したかと思ひます。家康の遺訓の一節に「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し、……」というのがあります。私の場合、前記以外の荷も含まれ、重荷を負うて遠き道を行くが如し、……というのがあります。今、こゝに立つておられるのは、

私が暮の手ほどきを受けて遊域と同好会に解放して毎月三日曜日に有志ボランティアで会員制囲碁の会を催しています。会員の職業はバラエティに富んでいて生まれてから死ぬまで相談相手に不足することはないと思ひます。

和氣あいあいの中、社会的地位や年令も関係なく、ここでは若の強い人、碁に関する話題の豊富な人、雑学のある人、情報の早い人が先生です。それぞれ、勝手な理由をつけて家を抜け出しますが、碁は逃げ防止に一番、プロの碁打ちには死ぬまで惚けたのはないと思ひます。

三翠同窓生の中では最も大学に近い所に住んでいますので同好会を開催することが出来れば楽しいと思ひます。

メンバーの棋力の幅が広く、私は三段の免状を持ち、標準とされています。万年優勝候補で欲が深すぎて皆さんから対戦相手として愛されています。

三翠化学囲碁 同好者を求む

旭工機株 大学3回 闇雲 明男

私が暮の手ほどきを受けて遊域と同好会に解放して毎月三日曜日に有志ボランティアで会員制囲碁の会を催しています。会員の職業はバラエティに富んでいて生まれてから死ぬまで相談相手に不足することはないと思ひます。

和氣あいあいの中、社会的地位や年令も関係なく、ここでは若の強い人、碁に関する話題の豊富な人、雑学のある人、情報の早い人が先生です。それぞれ、勝手な理由をつけて家を抜け出しますが、碁は逃げ防止に一番、プロの碁打ちには死ぬまで惚けたのはないと思ひます。

三翠同窓生の中では最も大学に近い所に住んでいますので同好会を開催することが出来れば楽しいと思ひます。

メンバーの棋力の幅が広く、私は三段の免状を持ち、標準とされています。万年優勝候補で欲が深すぎて皆さんから対戦相手として愛されています。



(絵 今西 記)

CD製作奮闘記

第39期 中村浩史とその仲間達

—その栄光なる軌跡—

一九九一年三月、私達は結成した。そして六月、固い決意を誓った。それは、大学生活の四年間で培ってきた音楽センス、テクニックである。これは発案者の島田裕三をはじめとする我々五人のバンド、Raciquaにあって、第二の修士論文というべきものであった。オリジナルという点もあつてまず曲作りから始まった、といつても今更に本格的に曲作りなどしたことがなく、難行が予想された。しかしここで我がバンドの救世主とも言うべき奴が現れた、というよりも急に才能を開花させた奴が現れた。我がバンドのメロディメーカーである、松林幸誠である。彼の作詞は実際の恋愛体験に基づくことが多く、ノンフィクションシンガーソング



CD御希望の方は、島田裕三(大39)に御連絡下さい。(電話0471-27-3254)

夫婦同伴で 大4クラス会

今春で卒業三十七年目を迎えた我々大4回生のクラスは、定年を迎えたもの、オーナー経営者など六十才に限りなく近ずき、また越えた者からなる。在ブラジルの佐々木君を昨春に亡くしたが、そのブラジルの松尾・馬岡夫妻が帰国したのを機会に、連れ合いを伴って、平成五年六月十九日と二十日の一泊二日で、鳥羽 相差 千鳥ヶ



浜でクラス会を開いた。梅田、勝田、林(眞)、松尾、数本の同伴八

組と、佐藤、信貴、原田、林(成美)、細尾、宮本、村上の七名で、男十四名と女九名の二十三名である。卒業以来三十七年ぶりの再会のもので、歳月の隔たりを感じないの不思議である。また、三十年目にしてはじめて、それぞれ、頼りにしている古女房を紹介しあう。太平洋を望み、黒潮踊る活き造りや、塩焼き料理に舌鼓をうちつつ、懇談をかきかき。飛び跳ねる海老に歓声をあげ、夫の旧悪を暴露したり、夜の更けるのを忘れた宴会であった。夜明けとともに起きたら、三三五五、海岸を散歩し、年々目覚め時刻の早まりを笑いあう。朝食を済ませ、再会を誓って解散し、志摩をまわるもの、遷宮近い伊勢神宮と朝熊山を参拝するものなど、それぞれに分かれ帰路についた。

播磨灘の夕陽を眺めて!!

専一クラス会

昨年春、湯の山で開催したクラス会で年中行事として毎年クラス会を行うことを決め、今年は関西地区在住の皆さんにお願いしてあつたところ、神戸市舞子にある元有栖川宮別邸で神戸市が管理する「舞子ヴィラ」を会場に選んでいただいた。当地は明石海峡を眺める名所にあり、淡路島を望んで連絡橋の架橋工事が目の下に見られるところにある。三月五日当日は快晴無風の好日となった。三時頃から三重・東京・名古屋等各地からなつかしい顔が到着。ゆつくり入浴後宴席に集い海に沈む夕陽の華麗な夕映えを眺めつ、ビールで乾盃。去年のクラス会から一人欠けなかったことを祝福し合った。あとは酒盃の重なりとともに春宵一刻値千金の時間をすごし、翌日は日曜でも仕事をある横井市長の長谷川君。海外ビジネスに出発する松村君。退官をひかえて益々多忙の嶋林君、が全員に送られて会場をあとにした。他の宿組組長幹事手配の別室に移動して全員四十五年のタイムスリップ農産製造科生徒まで若返り各種応援歌、ナントカ節?、までとび出しクラ



江戸伊豆 湯の山

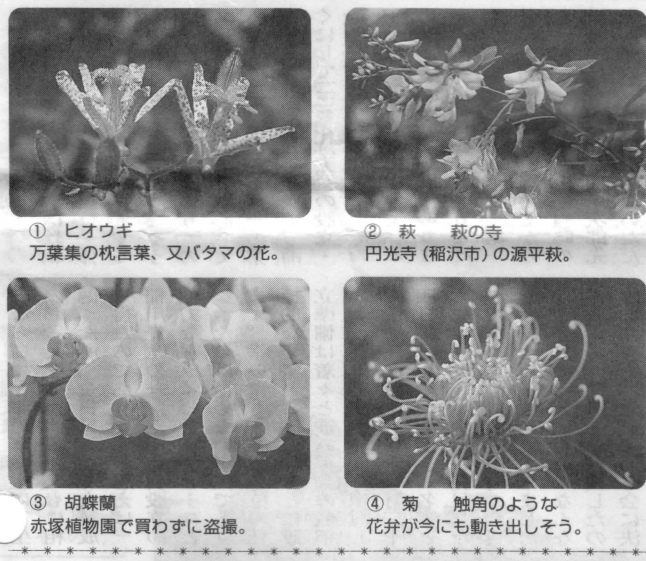
ス会名物豊田君のタコおどりでしめくくつた。来年は嶋林先生故郷へ帰る、を記念してびわ湖畔での開催をお願いし、五月の嶋林先生退官パーティー津ミヤコホテルでの再会を約して解散した。参加者は十七名であった。立派な会場を設営していただき、二次会、朝食用として明石まで名物釘煮他おいしいものを買出しに行っていた佐野・中尾・西君ビール差し入れをいただいた松村君、他在阪幹事の方々には厚く御礼申し上げます。(専一 今西記)



夕映えを背にして幹事のあいさつ(カラー印刷でないのが残念)

秋の花

西山 正之(大1)



① ヒオウギ 万葉集の枕草葉、又バタマの花。
 ② 萩 萩の寺 円光寺(相沢市)の源平萩。
 ③ 胡蝶蘭 赤塚植物園で買わずに盗撮。
 ④ 菊 触角のような花弁が今にも動き出しそう。

キレイな花、可愛い花、形の面白い花、花のある風景等、花は最も身近で最もポピュラーな被写体です。撮影は主に休日を利用するため、開花期の最も美しい時に、気象条件も合わせてタイミングが合わない花の美しさを十分引き出すことはできません。今回は秋をいろいろ花を集めて見ました。図鑑的写真が殆どで恐縮ですがご批判ください。

第十六回 二五周年クラス会 土砂降りの湯の山に集う



我々、第十六回生は卒業後二五年目の今年、新緑鮮やかな五月二日、湯の山に集った。ゴ

イルデンウィークの中、家族サークルもあつたことだろうに、しかも、今夏の天候不順を予告するよう大雨の中、熊沢先生に参加をお願いすると共に、西は九州福岡から、東は東京からと、十八名もの参加があつたことは、幹事として、「大成功」であつたと、自賛している次第である。

頭に白いものが目立ち、少々(人によってはかなり)額も広くなり、容貌も変化したもの、若き青春時代の四年間を共に過ごした仲間とあれば、会えばたちまち二五年間の歳月はタイムスリップし、昔話に花が咲き、湯の山の夜は瞬く間に過ぎ、翌日には、霧の御在所山に「かもしか」を訪ね、次回二年後の再会を約し、湯の山を後にした。(杉崎記)

嶋田協先生退官記念パーティーのお知らせ

場所 三重県社会福祉会館講堂(津駅前)
 主催 応用微生物学研究室(旧発酵学研究室)
 〇五九二一三一九六二
 二(大宮)九六一五(栗冠)
 日時 平成六年三月十九日(日) 御参加下さい。

会計幹事よりのお知らせ

この度、三翠化学会事務の合理化ということで、本年度総会でお認めいただきましたパソコンが導入されました。これによりまして会員皆様の住所と会計を一括して管理させていただきますことが可能となり、よりスムーズに事務作業が行えることとなりました。しかしながら会員の方々の中には依然住所不明で、会報をご覧頂けない方が少なからずおられるというのが現状です。転動等で住所や職場を変更された方、あるいはお知合いの会員の住所等をご存じの方は同封の払込通知表の裏側の通信欄にてご連絡頂ければ幸いです。

計 報

高岡(田中)正美氏(化大1)には平成五年六月一日動脈瘤破裂のため亡くなりました(六十二歳)。慎んでお悔やみ申し上げます。
 林田泰行氏(化大8)は、平成五年十月十八日、大腸癌のため死去しました(享年五十六歳)。慎んでご報告いたします。(長谷川)